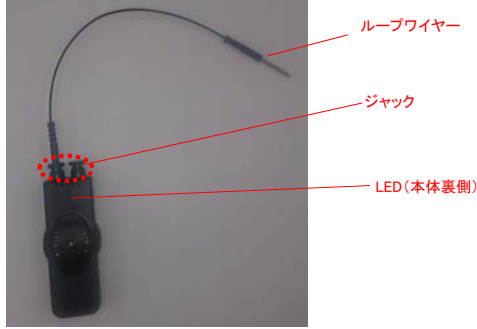
小型スモールループタグ（CAL3） 取扱説明書

■各部の名称

■タグセット方法

1. ループワイヤーを商品に通してから、ジャックに差し込みます。
   奥まで「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

2. 15秒経過後にLEDが一瞬点灯し「ピッ」と音が鳴り、セキュリティ警戒を開始します。

【補足①】
15秒以内にハンディリセッターあるいはリセットマットから解除信号を送信すると、
LEDが一瞬点灯し「ピッ」と音が鳴り、セキュリティ警戒を開始します。

【補足②】
補足①の方法でタグをセットした場合、その後3秒間は後述する
タグ解除方法②（発報させずに解除する方法）によるタグの解除はできません。

■タグ解除方法①（発報させて解除する方法）

1. ループワイヤーをジャックから抜き、タグを商品から取り外します。
   タグは「ピーッ、ピーッ、ピーッ、・・・」と音が鳴り発報動作をします。

2. ハンディリセッターあるいはリセットマットから解除信号を送信し、
   タグの発報動作を停止させます。

■タグ解除方法②（発報させずに解除する方法）

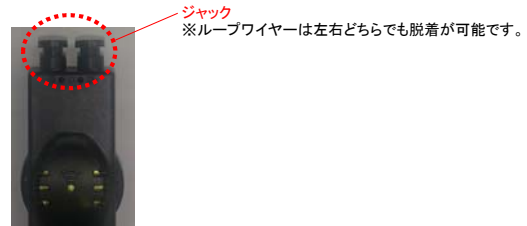
1. タグを商品に取り付けたまま（ループワイヤをジャックに差し込んだ状態）、
   ハンディリセッターあるいはリセットマットから解除信号を送信します。
   「ピッピッ（2回）」と音が鳴ります。

2. 15秒以内にループワイヤーのプラグをジャックから抜き、タグを商品から取り外します。

【補足③】
15秒以内にループワイヤをジャックから抜かなければ、
タグは再びセットされます。（セキュリティ警戒を再び開始）
ただし、補足①の方法によるタグのセットはできません。

■ループワイヤーの脱着

1. ジャックを押し込む事でループワイヤーを外すことが出来ます。

ジャック
※ループワイヤーは左右どちらでも脱着が可能です。

■注意事項

- タグは10分間発報(1回目)し、2時間停止後に再び10分間発報(2回目)して停止します。
  発報を停止させるにはタグを解除して下さい。
- タグの取り付け・保管は電波発信源（ハンディリセッター・リセットマット・ゲートなど）から
  離して下さい。
  タグが誤発報したり、電池消耗が早まる原因となる場合があります。
- ループワイヤーを強く引っ張らないでください。断線等により故障の原因となります。
- 落下や強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 水に濡れないようにしてください。故障の原因となります。

お問合わせ

発売元

株式会社ジーネット セキュリティシステム部

<大阪本社>
〒540-0024 大阪市中央区南新町1-2-10
TEL.06-6946-1916
FAX.06-6946-1936
http://security.g-net.co.jp/